

(仮称) 西神戸ゴルフ場を転活用した
産業団地整備事業
環境影響評価書案
説明会報告書

令和5年6月

神戸市

1 説明会の概要

1.1 事業者の名称、事務所の所在地及び代表者の氏名

事業者の名称：神戸市

事業者の住所：兵庫県神戸市中央区加納町 6-5-1

代表者の氏名：神戸市長 久元 喜造

1.2 対象事業の名称

(仮称) 西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業

1.3 説明会の開催概要

(1) 説明会の概要

神戸市環境影響評価等に関する条例第 16 条の規定に基づき、評価書案の記載事項を周知するための説明会を、神戸市西区内において 2 回開催した。

来場者数は、2 回の合計で延べ 10 名であった。各会場における開催状況は、表 1 に示すとおりである。

表 1 評価書案説明会開催状況

	日時	会場 (定員数)	所在地	来場者数
第 1 回	令和 5 年 3 月 25 日 (土) 午後 2 時～午後 3 時	押部谷地域福祉センター 第一会議室 (25 名)	西区押部谷町 西盛字老之本 313	7 名
第 2 回	令和 5 年 3 月 28 日 (火) 午後 6 時 30 分 ～午後 7 時 30 分	西区役所櫛谷出張所 別館 2 階会議室 (25 名)	西区櫛谷町 長谷 71-1	3 名

(2) 周知の方法

神戸市ホームページに掲載すると共に、神戸市広報誌 [全市版] (令和 5 年 4 月号) に、評価書案説明会の開催案内を掲載し、周知した。

2 説明会の実施結果

2.1 説明の内容

説明資料「評価書案のあらまし」を配布し、以下の次第により実施した。

- 1) 開会、出席者紹介等 (10分)
- 2) 説明 (20分)
- 3) 質疑応答 (30分)

2.2 質疑応答の内容

質疑応答の内容は、表 2 に示すとおりである。

表 2(1) 質疑応答の内容

項目	質疑	回答
環境全般	項目ごとに設定されている環境保全目標値について、設定の考え方を教えてほしい。	環境保全目標値は、国や自治体において定められている環境基準等の環境の保全に係る目標や基準等を設定している。
	現地調査の地点はどのような考え方で設定したのか。	大気質、騒音、振動は人の健康に影響を及ぼす項目であることから、事業実施区域に最も近い木見地区の住居への影響を把握するため、住居近傍を調査地点として設定している。また、工事及び施設関係車両が神戸三木線バイパスや小部明石線等を走行するため、近傍に住居が存在する沿道を調査地点として設定している。 植物・動物等の自然環境に関する項目は、事業実施区域内だけでなく、周辺環境の状況も把握するため、実施区域の端部から約 100m の範囲も調査範囲として設定している。
振動	川池の水門のナットが緩み鉄板が落下したことがあるが、この原因は神戸三木線（旧道）を走行する車両による振動であると考えている。新産業団地が完成すると、振動がさらに大きくなるのではないかと懸念している。	神戸三木線（旧道）については、工事関係車両は川池が位置する仏谷橋以北を走行させず、施設関係車両は走行させない計画としている。

表 2(2) 質疑応答の内容

項目	質疑	回答
植物・動物・生態系	<p>動物、植物、生態系について、影響が生じる・可能性がある、としている予測結果に対して、どのような対策を考えているのか。事業が自然破壊に繋がるのではないかと不安を持っている。</p> <p>新産業団地の完成後においても、環境保全措置を実施したことにより、希少な動植物の生息・生育が維持されているということが理想であり、それに向けた最大限の努力をお願いしたい。</p>	<p>動物、植物、生態系への影響については、改変の回避や生息環境の整備、移植等の環境保全措置を実施し、事業者として可能な限り、工事及び供用に伴う影響を回避・低減することとしている。</p>
地球温暖化	<p>植物・動物などの調査は、専門家が行ったのか。</p>	<p>植物や動物の分類に応じた専門性の高い調査員により調査を実施している。</p>
その他 (地域交通)	<p>供用後は二酸化炭素が合計で5万トン発生すると予測しており、緑化の推進等の環境保全措置を実施することで影響の回避・低減に努めるとしている。全世界で地球温暖化の影響について対応を問われている中で、発生する二酸化炭素に対して対策や事後調査をしないのか。</p> <p>施設関係車両等の走行ルートは、全て既存の道路ということによいか。</p> <p>また、施設関係車両の発生・集中交通量の算出方法と、その台数は適切な値なのか、現状の交通量にその台数が上乗せされるということによいか、さらにその場合の環境影響評価の結果について教えてほしい。</p> <p>新産業団地の全てに事業者が入居した場合においても、限界需要率や交通容量比1.0を上回らないということによいか。</p> <p>また、事後調査において、限界需要率や交通容量比1.0を上回り、交通渋滞が頻繁に生じるような状況が確認された場合には、どのような対策を行うのか。</p>	<p>供用後については、進出事業者エネルギー消費量の低減の要請や温室効果ガス排出抑制計画書に基づいた対策の実施を要請する等の環境保全措置を実施し、影響の回避・低減に努めていく。</p> <p>事後調査についても、環境保全措置の実施状況を把握することとしており、事業者として可能な限りの対応を検討している。</p> <p>施設関係車両等は全て既存の道路を走行する計画である。</p> <p>また、施設関係車両の発生・集中交通量は、本事業の土地利用計画や神戸テクノ・ロジスティックパークの実績等を参考に算出しており、妥当な台数であると考えている。</p> <p>予測にあたっては、現状の交通量に、施設関係車両を上乗せしているが、予測の結果は交通渋滞を表す指標である限界需要率及び交通容量比1.0を下回っており、著しい影響は生じないと評価している。</p> <p>新産業団地の全てに事業者が入居した場合においても、交通渋滞を表す指標を下回ると予測している。</p> <p>事後調査において、交通混雑が頻繁に生じるような状況が確認された場合には、当該結果を踏まえて、渋滞箇所やその原因等を見極めながら、適切な対策を行う。</p>

表 2(3) 質疑応答の内容

項目	質疑	回答
<p>その他 (地域交通)</p>	<p>神戸三木線（旧道）は走行させないとのことだが、現状で神戸市が管理している布施畑環境センターの車両が走行しているため、本当に走行させない計画なのか疑問がある。工事関係車両は指導できたとしても、進出事業者の車両は指導できないのではないか。地元としては今でも車両の通行で困っており、これ以上の被害を懸念している。</p> <p>現時点で、神戸三木線バイパスと神戸三木線（旧道）との合流地点である大岩橋を通行しにくくするようにお願いをしているところだが、新産業団地が完成すれば、神戸三木線（旧道）の方が裏道で通りやすいことから、走行台数が増加すると思われる。</p>	<p>工事関係車両については、事業者として徹底して管理する予定であり、仏谷橋以北は走行させない計画である。</p> <p>また、神戸三木線（旧道）の裏道的な利用を防ぐため、施設関係車両については、進出事業者に対する効率的な運行管理等の要請を徹底し、神戸三木線バイパスの交通が円滑に流れるような状況にしていくことが重要と考えている。</p>

【添付資料】

- ・資料1 配布資料：評価書案のあらまし（説明資料）

（仮称）西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業 環境影響評価 評価書案のあらまし — 神戸市 —

1. 事業の目的

● これまでの産業団地の整備の経緯

神戸市は、1868年の神戸開港から近代的港湾都市へと歩みだし、良好な社会的・自然的条件に恵まれた国際港湾都市として発展してきました。海と六甲山系に挟まれた東西にのびる既成市街地に人口と産業の大部分が集中していたため、1960年代の高度経済成長期を契機に、臨海部と内陸部で計画的・効率的に住宅・産業団地の供給を進めてきました。

内陸部では、住宅・産業需要に応えるため、住宅団地のほか、神戸流通センターやハイテクパーク、サイエンスパーク、西神インダストリアルパーク、神戸テクノ・ロジスティックパークといった産業団地を整備し、産業基盤の強化と市内経済の活性化をめざして取り組みを進めてきました。

● 産業用地の需要動向

近年、本市の産業団地の分譲は堅調に推移しており、物流施設用地は完売し、製造工場用地も残り少なくなっています。一方で、コロナ禍においても投資を希望する物流事業者や、工場等の建替え時期を迎えた製造事業者からの引き合いが続いており、将来的な用地需要が見込まれる状況にあります。

● 西神戸ゴルフ場の立地特性

① 基本計画等における位置付け

神戸市第5次基本計画及び都市計画マスタープランにおいて、産業集積を促進する「内陸新産業エリア」内に位置しています。

② 周辺産業団地との連携による相乗効果

事業実施区域は、市街地中心部から西北西に約12km、西神ニュータウンより東へ約4kmに位置し、神戸電鉄粟生線木津駅に隣接する神戸テクノ・ロジスティックパークに隣接しており、周辺産業団地との連携による用地活用の相乗効果が期待できます。

③ 交通利便性

神戸西インターチェンジに近接し、神戸淡路鳴門自動車道や山陽自動車道等の広域幹線ネットワークを経て、全国に広がる広域幹線網に直結した立地特性を有しています。

④ 既存インフラの転活用による環境負荷の低減及び迅速な産業用地の供給

敷地の大半が市有地であり、一定規模のまとまった用地（約100ha）が確保できます。また、ゴルフ場として一定開発が既に行われていることから、新たに山林を広く切り開くといった造成開発を行う必要はなく、環境負荷の低減が図られるとともに、工期短縮により迅速な用地供給が可能です。

以上のことから、今後の需要に対応し迅速に産業用地を供給するため、西神戸ゴルフ場を新たな産業団地として転活用するものです。

2. 事業計画の概要

事業者	神戸市
対象事業の名称	(仮称) 西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業
事業の種類	工業団地及び流通業務団地の造成
事業の規模	全体面積：約100ha
事業実施区域の位置	兵庫県神戸市西区押部谷町木見

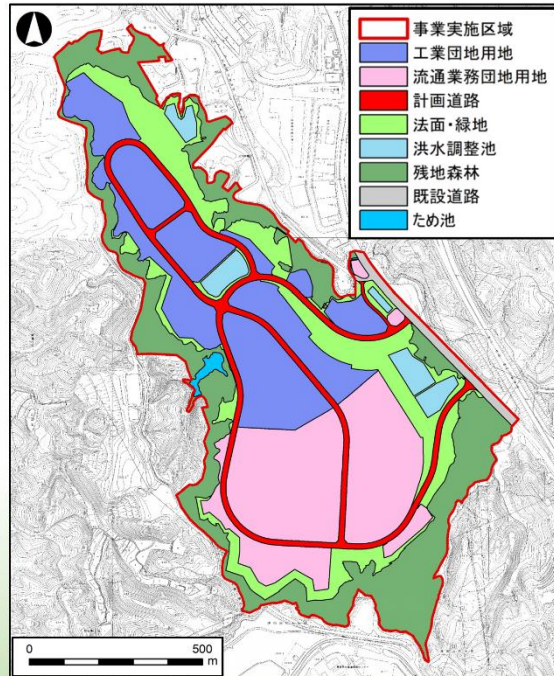


● 土地利用計画

事業実施区域のうち、工業団地用地、流通業務団地用地、計画道路、法面・緑地を造成するほか、防災施設として洪水調整池を設置する計画です。

なお、事業実施区域周縁部に存在する残地森林、既設道路及びため池は残し、造成によって新たに出現する法面や造成地は、積極的に緑化を行う予定としています。

利用区分	面積	比率
工業団地用地	23.6ha	22.8%
流通業務団地用地	23.4ha	22.6%
計画道路	7.4ha	7.1%
法面・緑地	17.0ha	16.4%
洪水調整池	3.3ha	3.2%
残地森林	26.6ha	25.7%
既設道路	1.8ha	1.7%
ため池	0.5ha	0.5%
合計	103.6ha	100.0%



土地利用計画平面図

3. 工事計画

項目	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
準備工		■									
構造物撤去工		■									
土工		■	■	■	■	■					
防災工・調整池工		■	■	■							
法面工			■	■	■	■					
法面排水工			■	■	■						
道路工・擁壁工				■	■	■	■	■			
下水道工				■	■	■	■				
宅地内排水工					■	■	■	■			
関連施設工				■	■	■	■	■	■	■	■
建築工					■	■	■	■	■	■	■

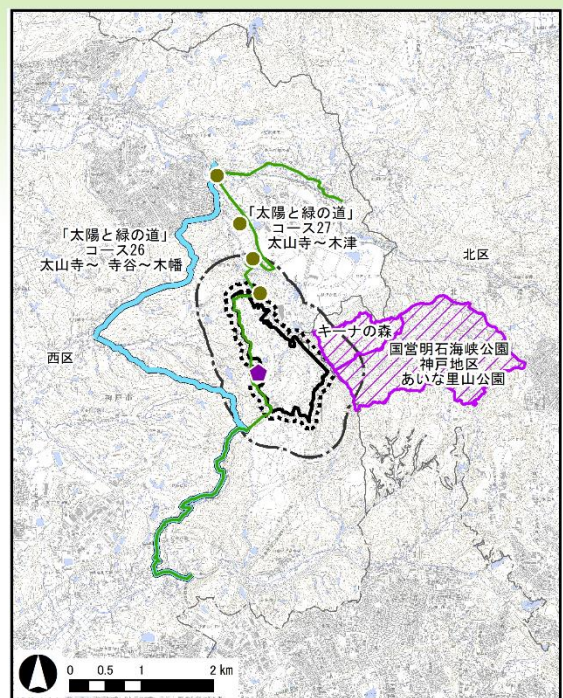
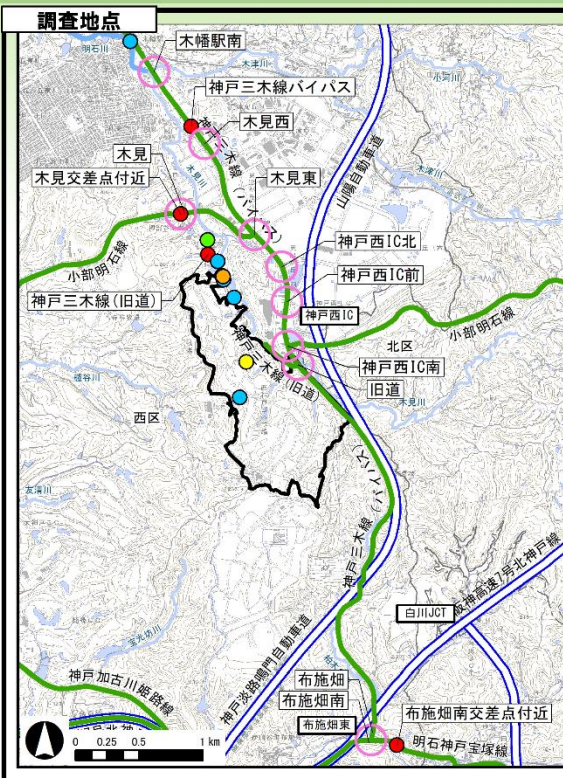
4. 環境影響評価の対象項目

環境要素の区分		行為等の区分		工事			存在・供用		
		樹木の伐採	工事等	土工事・建設	走行	工事関係車両の	施設の存在	施設の稼働	施設関係車両等の走行
大気質	二酸化窒素 (NO ₂)、浮遊粒子状物質 (SPM)		●	●			●	●	
	粉じん		●						
騒音	建設作業騒音		●						
	施設騒音						●		
	道路交通騒音				●			●	
振動	建設作業振動		●						
	施設振動						●		
	道路交通振動				●			●	
水質	浮遊物質量 (SS)		●						
地形・地質	土地の安定性の变化の程度		●						
植物	植生・植物相	●	●			●			
動物	動物相	●	●			●			
生態系	上位性・典型性・特殊性の代表種、種多様性	●	●			●			
人と自然との触れ合い活動の場			●				●		
景観	景観構成要素、可視特性						●		
文化環境	指定文化財、埋蔵文化財等		●						
廃棄物等	建設廃棄物、産業廃棄物	●	●						
地球温暖化	温室効果ガス (二酸化炭素)	●	●				●		
その他	地域交通				●			●	

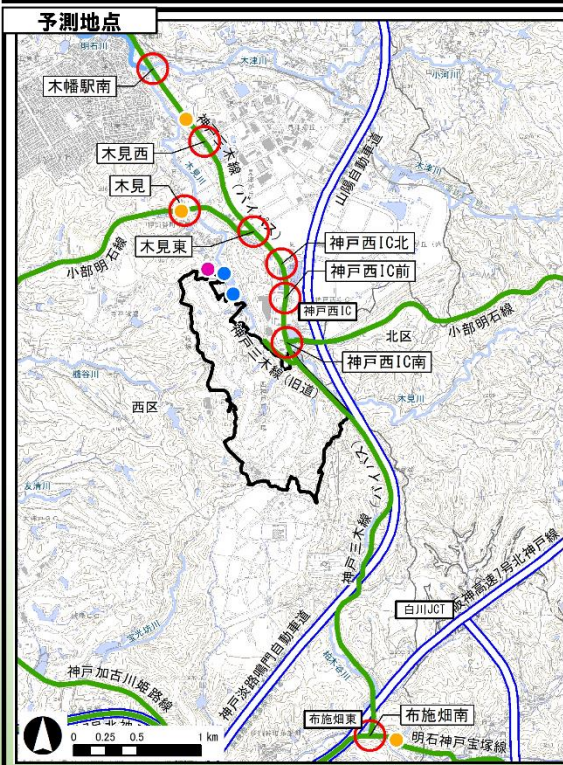
注) ●：環境影響評価項目として選定する項目を示しています。

5. 環境影響評価の概要

現地調査及び予測の位置



注) 「太陽と緑の道」コース27 太山寺～木津は一時休止となっており、「あいな里山公園」は、調査地域が未開園であることから、予測の対象としていません。



凡例		項目
調	●	地上気象調査地点
	●	大気質調査地点
	●	一般環境騒音・振動調査地点
	●	道路交通騒音・振動調査地点、地域交通調査地点
	●	水質調査地点
	○	地域交通調査地点
査	---	植物・動物調査範囲
	●	景観調査地点
	---	人と自然との触れ合い活動の場調査範囲
	▨	人と自然との触れ合い活動の場調査地点
予	●	文化環境調査地点
	●	大気、騒音、振動予測地点(建設機械、施設の稼働)(住居近傍地点)
	●	大気、騒音、振動予測地点(関係車両の走行)(走行ルートの道路端)
	●	水質予測地点(木見川、川池)
測	○	地域交通予測地点(主要な交差点)
	▭	事業実施区域

注1) 住居近傍地点とは「事業実施区域境界線上かつ近傍に住居が存在する地点」を指します。
 注2) 走行ルートの道路端とは、「走行ルートの道路端かつ近傍に住居が存在している地点」を指します。

大気質

●現地調査結果

測定地点	二酸化窒素			浮遊粒子状物質			降下ばいじん
	期間平均値 (ppm)	日平均値の最高値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	期間平均値 (mg/m ³)	日平均値の最高値 (mg/m ³)	1時間値の最高値 (mg/m ³)	年間 (t/km ² /月)
事業実施区域近傍	0.006	0.009	0.022	0.018	0.035	0.099	2.45

注1) 調査期間：二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は四季別に1週間連続、降下ばいじんは四季別に30日間連続。

注2) 二酸化窒素の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下。

浮遊粒子状物質の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下。

●建設機械の稼働

：排出ガス

建設機械の稼働に伴う排出ガス（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）の予測結果は、住居近傍地点及び最大着地濃度地点において環境保全目標値以下となりました。

時期	予測地点	項目 (単位)	日平均値の年間98%値	環境保全目標値
工事中	住居近傍地点	二酸化窒素 (ppm)	0.024	0.06以下
	最大着地濃度地点		0.041	
	住居近傍地点	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.055	0.10以下
	最大着地濃度地点		0.058	

：粉じん

建設機械の稼働に伴う粉じん（降下ばいじん）の予測結果は、住居近傍地点において0.98～3.26 (t/km²/月) となりました。なお、事業による影響は、散水の実施等の環境保全措置を実施することで、回避・低減に努めます。

時期	予測地点	項目 (単位)	時期	事業による影響	参考	
					現地調査結果	現地調査結果との足し合わせ結果
工事中	住居近傍地点	降下ばいじん量 (t/km ² /月)	春季	1.68	3.44	5.12
			夏季	3.26	1.76	5.02
			秋季	1.78	2.28	4.06
			冬季	0.98	2.32	3.30

注) 現地調査結果は、事業実施区域近傍における季節別の結果を示しています。

●施設の稼働：排出ガス

施設の稼働に伴う排出ガス（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）の短期濃度の予測結果（1時間値）は、住居近傍地点及び最大着地濃度地点において環境保全目標値以下となりました。

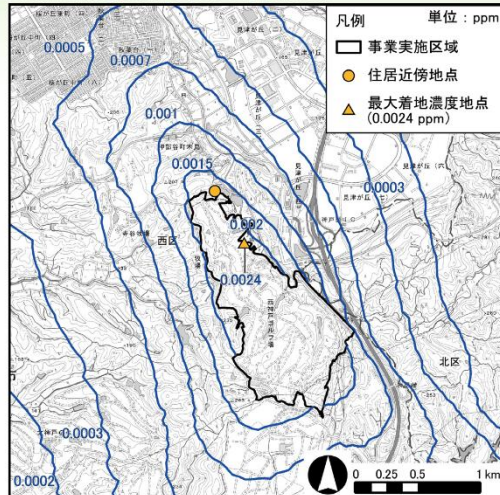
長期平均濃度の予測結果においても、住居近傍地点及び最大着地濃度地点において環境保全目標値以下となりました。

【短期濃度（1時間値）】

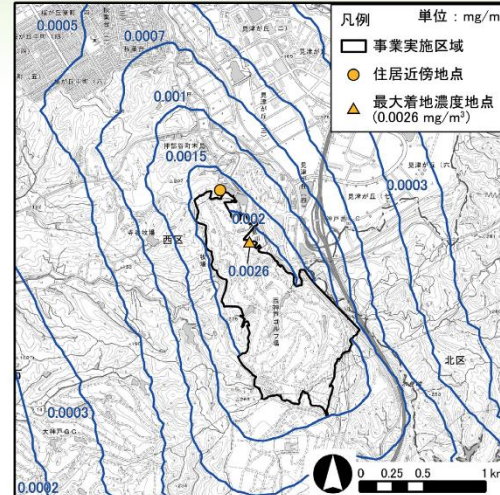
時期	予測地点	項目 (単位)	風向	事業による影響	現地調査結果	予測結果 (1時間値)	環境保全目標値
供用後	住居近傍地点	二酸化窒素 (ppm)	SSE	0.017	0.022	0.039	0.1～0.2以下
	最大着地濃度地点		NW	0.019	0.022	0.041	
	住居近傍地点	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	SSE	0.020	0.099	0.12	0.2以下
	最大着地濃度地点		NW	0.023	0.099	0.12	

【長期平均濃度】

時期	予測地点	項目 (単位)	事業による影響	現地調査結果	予測結果	日平均値の年間98%値	環境保全目標値
供用後	住居近傍地点	二酸化窒素 (ppm)	0.0016	0.006	0.008	0.020	0.06以下
	最大着地濃度地点		0.0024	0.006	0.008	0.021	
	予測地点	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.0017	0.018	0.020	0.059	0.10以下
	最大着地濃度地点		0.0026	0.018	0.021	0.061	



長期平均濃度予測結果(事業による影響)(二酸化窒素)



長期平均濃度予測結果(事業による影響)(浮遊粒子状物質)

●工事関係車両・施設関係車両：排出ガス

工事中の工事関係車両及び供用後の施設関係車両の走行による沿道の排出ガス（二酸化窒素・浮遊粒子状物質）の予測結果は、いずれの予測地点においても、環境保全目標値以下となりました。

時期	予測地点	二酸化窒素 (単位: ppm)		浮遊粒子状物質 (単位: mg/m ³)	
		日平均値の年間98%値	環境保全目標値	日平均値の年間2%除外値	環境保全目標値
工事中	神戸三木線 (バイパス)	0.018	0.06以下	0.045	0.10以下
	木見交差点付近	0.018		0.046	
	布施畑南交差点付近	0.019		0.046	
供用後	神戸三木線 (バイパス)	0.018		0.046	
	木見交差点付近	0.018		0.046	
	布施畑南交差点付近	0.019		0.046	

騒音・振動

●現地調査結果

【一般環境】

(単位: dB)

地点	時間区分	騒音レベル (L _{Aeq})			振動レベル (L ₁₀)		
		平日	休日	環境基準	平日	休日	振動感覚閾値
木見地区住居付近	昼間	49	47	55	25未満	25未満	55
	夜間	44	40	45	25未満	25未満	

【道路交通】

地点	時間区分	騒音レベル (L _{Aeq})			振動レベル (L ₁₀)		
		平日	休日	環境基準	平日	休日	要請限度
神戸三木線 (バイパス)	昼間	64	62	70	31	26	65
	夜間	58	56	65	25未満	25未満	60
木見交差点付近	昼間	71 ^{注1)}	69	70	36	31	65
	夜間	65	61	65	25未満	25未満	60
神戸三木線 (旧道)	昼間	65	63	70	30	29	65
	夜間	58	56	65	25未満	25未満	60
布施畑南交差点付近	昼間	70	68	70	45	40	65
	夜間	63	62	65	33	30	60

注1) 騒音の時間区分: 昼間 6~22時、夜間 22~翌6時。振動の時間区分: 昼間 8~19時、夜間 19~翌8時。なお、太字は環境基準を超過することを示します。

6 注2) 振動感覚閾値とは、人が振動を感じ始める値を指しています。

●建設機械の稼働：騒音・振動

工事中の建設機械の稼働に伴う騒音・振動の予測結果は、住居近傍地点及び敷地境界最大地点ともに環境保全目標値以下となりました。

(単位：dB)

時期	予測地点	区分	騒音予測結果 (L _{A5})	環境保全目標値 (騒音)	振動予測結果 (L ₁₀)	環境保全目標値 (振動)
工事中	住居近傍地点	昼間	75	85	54	75
	敷地境界最大地点		84		75	

注) 時間区分：昼間 7時～19時。

●施設の稼働：騒音・振動

供用後の施設の稼働に伴う騒音・振動の予測結果は、住居近傍地点及び敷地境界最大地点ともに環境保全目標値以下となりました。

(単位：dB)

時期	予測地点	区分	騒音予測結果 (L _{A5})	環境保全目標値 (騒音)	振動予測結果 (L ₁₀)	環境保全目標値 (振動)
供用後	住居近傍地点	朝、夕	39	60	—	—
		昼間	39	65	35	65
		夜間	39	50	35	60
	敷地境界最大地点	朝、夕	50	60	—	—
		昼間	50	65	59	65
		夜間	50	50	59	60

注) 騒音の時間区分：朝 6時～8時、昼間 8時～18時、夕 18時～22時、夜間 22時～翌6時。

振動の時間区分：昼間 8時～19時、夜間 19時～翌8時

●工事関係車両・施設関係車両：騒音・振動

騒音の予測結果は、木見交差点付近において、施設関係車両の走行に伴う騒音が環境保全目標値を超過しました。その他の地点においては、いずれの項目においても環境保全目標値以下となりました。

なお、進出事業者への運行管理の要請等の環境保全措置を講じることで、施設関係車両の走行に伴う騒音の影響の低減が見込めることから、整合を図るべき基準等との整合が図られると評価しました。

【騒音】

(単位：dB)

時期	予測地点	区分	工事中・供用後の一般交通量の等価騒音レベル	工事関係車両・施設関係車両による増加分	予測結果 (L _{Aeq})	環境保全目標値
工事中	神戸三木線 (バイパス)	昼間	63	0	63	70
	木見交差点付近		71	0	71	71 ^{注2)}
	布施畑南交差点付近		70	0	70	70
供用後	神戸三木線 (バイパス)	昼間	63	1	64	70
		夜間	57	1	58	65
	木見交差点付近	昼間	71	1	72 ^{注1)}	71 ^{注2)}
		夜間	65	1	66 ^{注1)}	65
	布施畑南交差点付近	昼間	70	0	70	70
		夜間	63	1	64	65

注1) **太字**はその時間帯の環境保全目標値 (昼間：70dB、夜間：65dB) を超過することを示します。

注2) 工事中・供用後の一般交通量の等価騒音レベルが基準を超えている地点については、工事中・供用後の一般交通量の等価騒音レベルを環境保全目標値としました。

【振動】

(単位：dB)

時期	予測地点	区分	工事中・供用後の一般交通量の等価騒音レベル	工事関係車両・施設関係車両による増加分	予測結果 (L ₁₀)	環境保全目標値
工事中	神戸三木線 (バイパス)	昼間	32	1	33	65
	木見交差点付近		39	1	40	65
	布施畑南交差点付近		48	1	49	65
供用後	神戸三木線 (バイパス)	昼間	32	1	33	65
		夜間	30	1	31	60
	木見交差点付近	昼間	38	1	39	65
		夜間	36	3	39	60
	布施畑南交差点付近	昼間	48	1	49	65
		夜間	44	1	45	60

水質（土工事・建設工事等）

土工事・建設工事等に伴う水質（水の濁り）の予測結果は、木見川及び川池において、いずれも環境保全目標値以下となりました。

（単位：mg/L）

河川等		予測結果	環境保全目標値 （降雨時のSS濃度の 現地調査結果）
		SS濃度	
木見川	農繁期	41.8	43
	農閑期	156.5	230
川池	農繁期 ^{注1)}	現況のSS濃度 以下となる ^{注2)}	48

注1) 農閑期は池干しが実施されており、農閑期の現況調査を実施していないことから、農繁期を予測及び評価の対象としました。

注2) 工事排水は、仮設沈砂池等により濁りを沈砂させた後、放流することから、川池よりも濁りが少ない状態で流入するため、川池の濁りが薄まると考えられます。

地形・地質（土地の改変）

工事の実施にあたっては、関連法令等に基づき適切に対応するとともに、事前に地形及び地質等の詳細な調査を実施し特性を把握した上で、土地の安定性が確保される工事計画を策定します。

また、法面や斜面においては、必要に応じて地すべり対策工等を採用し、法面や斜面の崩壊を予防し安全に工事を実施します。これらのことから、工事の実施に伴う土地の安定性は確保されると予測しました。

植物・動物・生態系

現地調査の結果、重要な種（レッドデータブック記載種など）として、下表に示す種が確認されました。

重要な種のうち、アマナやエビネ等の6種の植物や、セトウチサンショウウオやモリアオガエル等の4種の両生類は、「生育地・繁殖環境の消失の影響が生じる」、生育地が改変区域に近接するハコネシダ（植物）等の2種の植物は「質的变化の可能性がある」、周辺に生息環境が広く分布するアカネズミやルリビタキ等の59種の動物は「生息環境が一部改変される」と予測しました。それ以外の種は生育地・生息環境に「影響は生じない」と予測しました。

【現地調査で確認された重要な種】

分類群	代表的な種
植物	ハコネシダ、アマナ、エビネ等 計25種
哺乳類	モグラ科、アカネズミ、アナグマ等 計11種
鳥類	オシドリ、ミサゴ、ルリビタキ等 計26種
爬虫類	タカチホヘビ、シロマダラ、ヒバカリ等 計6種
両生類	セトウチサンショウウオ、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル等 計7種
魚類	ギンブナ、ドジョウ、シマヒレヨシノボリ 計3種
昆虫類	キイロサナエ、オオミズムシ、ヘイケボタル等 計15種
底生動物(昆虫類を除く)	オオタニシ 計1種



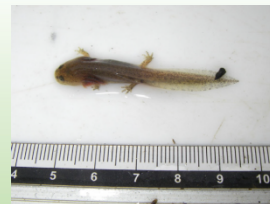
ハコネシダ



アカネズミ



ルリビタキ



セトウチサンショウウオ

人と自然との触れ合い活動の場

人と自然との触れ合い活動の場は、事業実施区域から約100m～約300m離れており、工事の実施により改変されず、利用状況の変化も極めて小さいと予測しました。

景観

進出事業者施設の一部が視認され、眺望景観を変化させると予測しました。なお、事業による影響は、緑化等の環境保全措置を実施することで、回避・低減に努めます。

【「太陽と緑の道」コース27 太山寺～木津（木見東交差点下）からの眺望景観】



【神戸三木線(旧道) (川池前) からの眺望景観】 事業実施区域



注) 進出事業者施設の位置、高さ、形式、デザイン及び色彩は計画段階のイメージであり、事業実施段階において変わる可能性があります。

文化環境

仏谷洞窟は、事業実施区域から約40m離れており、工事の実施により改変されず、また、周辺の樹林地も大部分が残されることから、影響は生じないと予測しました。

廃棄物等

工事の実施に伴い、伐採木、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、金属くず、混合廃棄物及び残土が発生すると予測します。なお、発生した廃棄物等は分別を徹底する等、可能な限り再資源化及び再利用を図り、再資源化等が困難な廃棄物等は法令に基づき適正な処理を実施します。

地球温暖化

工事の実施に伴う樹木の伐採により、伐採木から二酸化炭素が約1万t-CO₂発生し、樹木による二酸化炭素の吸収量が約800t-CO₂減少（当年）すると予測しました。また、建設機械の稼働により、二酸化炭素が約4万t-CO₂発生すると予測しました。

施設の稼働に伴う進出事業者の電力使用及び燃料使用により、それぞれ二酸化炭素が約2万t-CO₂/年及び約3万t-CO₂/年発生すると予測しました。

なお、事業による影響は、緑化の推進等の環境保全措置を実施することで、回避・低減に努めます。

地域交通

●工事関係車両・施設関係車両の走行

交差点需要率^{注1)}が最も高い交差点は、神戸西IC北交差点となり、限界需要率^{注2)}を下回ると予測しました。

交通容量比^{注3)}が最も高い交差点は、神戸西IC南交差点となり、交通容量比1.0を下回ると予測しました。

なお、限界需要率を下回ることや交通容量比が1.0を下回る場合、理論上、円滑な交通処理ができると判断されます。

【交差点需要率】

予測地点	工事関係車両の走行		施設関係車両の走行	
	交差点需要率	限界需要率	交差点需要率	限界需要率
神戸西IC北交差点	0.692	0.920	0.781	0.920

【交通容量比】

予測地点	工事関係車両の走行	施設関係車両の走行
	交通容量比	交通容量比
神戸西IC南交差点	0.977	0.977

●歩行者等の安全への影響

神戸三木線（バイパス）及び小部明石線の沿道は、マウントアップ^{注4)}等により歩車道が分離されていることから、歩行者等の安全は確保されると予測しました。

注1) 交差点需要率とは、単位時間内に交差点が信号で処理できる交通量に対する流入交通量の比率を指します。

注2) 限界需要率とは、交差点の処理能力の上限を指します。

注3) 交通容量比とは、走行可能な交通容量に対する流入交通量の比を指します。

注4) マウントアップとは、歩道面が車道面より高く、縁石の天端高さと同じである歩道構造を指します。

6. 環境保全措置

事業による影響を回避または低減するため、下表に示す環境保全措置を実施します。

【環境保全措置の検討結果】

環境要素	区分	主な環境保全措置の内容	
大気質 騒音 振動	工事中	建設機械の稼働	排出ガス対策型、低騒音型、低振動型建設機械の採用・整備・点検・取り扱いの教育・指導、散水の実施、造成箇所の早期転圧
		工事関係車両の走行	工事関係車両の集中回避・整備・点検・運転の教育・指導
	供用後	施設の稼働	進出事業者に以下の要請 法令等遵守・低公害施設及び高効率施設の設置・低騒音型設備機器や防音施設の設置・低振動型設備機器や防振施設
		施設関連車両の走行	進出事業者に以下の要請 運行管理・通勤車両低減・整備・点検・運転手の教育・指導
水質	工事中	仮設沈砂池等の設置、造成箇所の早期転圧	
地形・地質	工事中	地形及び地質の詳細調査に基づく工事計画の策定、地すべり対策工等の採用、適切な盛土の施工計画	
動物・植物・生態系	工事中・供用後	生育地・生息地の変更の回避、施工時の配慮、緑化、改変面積の縮小、濁水の流出防止、移植、生息・繁殖環境の整備	
人と自然との触れ合い活動の場	工事中・供用後	施工時の配慮、緑化、進出事業者への施設配置・デザイン等の要請	
景観	供用後	緑化、進出事業者への施設配置・デザイン等の要請	
文化環境	工事中	施工時の配慮	
廃棄物等	工事中・供用後	伐採樹木の再資源化の促進、廃棄物の適正処理、残土の再利用、廃棄物の分別による再資源化等の促進	
地球温暖化	工事中	緑化の推進、低燃費型建設機械等の採用・取り扱いの教育・指導・整備・点検	
	供用後	エネルギー消費量の低減、特定物質（温室効果ガス）排出抑制計画書及び措置結果報告書の提出、緑化の推進	
地域交通	工事中	工事関係車両の集中回避・走行時間帯の管理・一部走行ルートへの限定・走行ルート及び走行時間の厳守・運転の教育・指導・交通誘導員による誘導・通勤車両の抑制、工事計画の周知徹底	
	供用後	進出事業者に以下の要請 運行管理・通勤車両低減・一般道での待機、路上駐車防止・一部走行ルートの限定・運転手の教育・指導・走行ルートの厳守	

7. 環境影響の総合評価

本事業の実施による環境影響を総合的に評価すると、予測結果を踏まえて適切な環境保全措置を実施することにより、事業の実施に伴う環境影響は、事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避・低減又は代償されていると評価しました。また、国、県又は市が実施する環境保全に関する施策・基準等との整合も図り、環境保全への配慮を適性に行ったものと評価しました。

8. 事後調査の計画案

工事中及び供用後の事後調査の計画案は下表に示すとおりです。なお、工事中及び供用後の環境保全措置の実施状況についても確認する計画です。

【工事中の事後調査計画案】

環境要素	環境調査	調査地点	調査時期
大気質	建設機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	現地調査地点（1地点）	工事最盛期に1回
	建設機械の稼働に伴う粉じん（降下ばいじん）	予測地点（1地点）	工事最盛期に1回
騒音	建設機械の稼働に伴う騒音	予測地点（1地点）	工事最盛期に1回
	工事関係車両の走行に伴う騒音	予測地点（3地点）	工事関係車両台数が最大となる時期に1回
振動	建設機械の稼働に伴う振動	予測地点（1地点）	工事最盛期に1回
水質	土工事・建設工事等に伴う濁水（浮遊物質（SS））	予測地点（河川及びため池各1地点）	土工事の最盛期に1回
植物	移植対象種の生育状況	事業実施区域及びその周辺の移植箇所	各種の調査適期に1回
動物	事業実施区域周辺で繁殖の可能性がある猛禽類の繁殖状況	事業実施区域周辺で確認された古巣	工事前及び工事中の繁殖期
	生息・繁殖環境を整備した両生類の生息状況	生息・繁殖環境を整備した箇所	各種の調査適期に1回
生態系	事業実施区域周辺で繁殖の可能性がある猛禽類の繁殖状況	事業実施区域周辺で確認された古巣	工事前及び工事中の繁殖期
廃棄物	—	—	—
地球温暖化	—	—	—
地域交通	工事関係車両の走行に伴う地域交通	予測地点（8地点）	工事関係車両台数が最大となる時期に1回
	工事関係車両の走行に伴う歩行者の安全等	予測地点（主要な走行ルート沿道）	工事関係車両台数が最大となる時期に1回

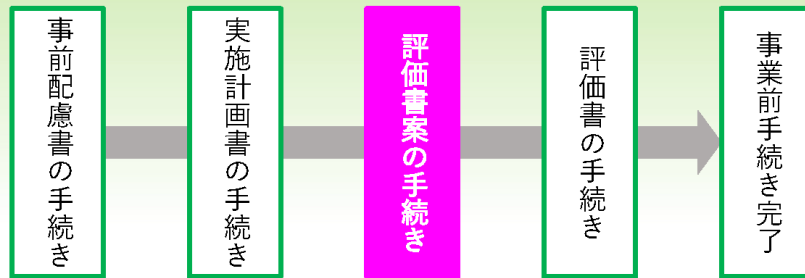
【供用時の事後調査計画案】

環境要素	環境調査	調査地点	調査時期
大気質	施設の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	現地調査地点（1地点）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回
騒音	施設の稼働に伴う騒音	予測地点（1地点）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回
	施設関係車両の走行に伴う騒音	予測地点（3地点）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回
振動	施設の稼働に伴う振動	予測地点（1地点）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回
植物	移植対象種の生育状況	事業実施区域及びその周辺の移植箇所	各種の調査適期に1回
動物	生息・繁殖環境を整備した両生類の生息状況	生息・繁殖環境を整備した箇所	各種の調査適期に1回
生態系	生息・繁殖環境を整備した両生類の生息状況	生息・繁殖環境を整備した箇所	各種の調査適期に1回
景観	主要な眺望点からの眺望景観	予測地点（4地点）	施設稼働が定常状態に達した時期における各眺望地点の予測対象季節に1回
地球温暖化	—	—	—
地域交通	施設関係車両の走行に伴う地域交通	予測地点（8地点）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回
	施設関係車両の走行に伴う歩行者の安全等	予測地点（主要な走行ルート沿道）	施設稼働が定常状態に達した時期に1回

注）調査地点に記載している現地調査地点や予測地点は、p4の図に示した調査地点、予測地点を指しています。

参考

●環境影響評価の手続き



- 環境影響評価**：開発事業の内容を決めるに当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方々などから意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度。
- 事前配慮書**：事業への早期段階における環境配慮を可能にするため、事業を実施しようとする者が、事業の位置・規模等の検討段階において、環境保全のために適正な配慮をしなければならない事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。
- 実施計画書**：環境影響評価において、どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくかという計画を示したもの。
- 評価書案**：調査・予測・評価・環境保全対策の検討の結果を示し、環境保全に関する事業者自らの考え方を取りまとめたもの。（今回）
- 評価書**：評価書案で示した環境影響評価の結果に対する意見を勘案し、必要に応じて評価書案の内容を修正したもの。

●評価書案の縦覧・意見書の提出について

縦覧場所・期間

【縦覧場所】

- 神戸市 環境局 環境保全課
- 西区役所 まちづくり課
- 西区役所 押部谷出張所
- 西区役所 櫛谷出張所
- 北区役所 まちづくり課

Q 神戸市の環境アセスメント制度

※神戸市のホームページでもご覧になることができます。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a66958/kurashi/recycle/kankyohozen/assessment/nishikobegoruhujoutennkatuyou.html>

【縦覧期間】

- 令和5年3月10日(金)～令和5年4月24日(月) 各縦覧場所の執務時間内

意見書の提出方法・期間

1. 評価書案について環境保全の見地から意見のある方は意見書を提出することができます。
2. 所定の様式に環境保全の見地からの意見を記載してください。
3. 意見書の提出方法
 - ・ 郵送または持参（神戸市環境局 環境保全課(〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5 三宮プラザ EAST2階) まで）
 - ・ 電子メール（assessment@office.city.kobe.lg.jp）※必要事項（氏名及び住所、環境保全の見地からの意見）をご記載ください。
4. 意見書の受付期間：令和5年4月24日(月)必着

お問い合わせ先

神戸市 都市局 内陸・臨海計画課
〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル9階
TEL 078-595-6785 FAX 078-595-6812

本資料に掲載した地図は、国土地理院発行の電子地形図に情報を追記したものである。

資料2 説明会広報資料 (神戸市広報誌 令和5年4月号)

2023年4月号

広報紙 **KOBE**

全市版 | 11

口腔がん検診

日時 5月17日(水)、11・18・25日(木)9:30~

場所 市歯科医師会

料金 無料

申し込み 往(希望日も記入)で市歯科医師会(〒650-0021三宮町2-11-1-514)まで。4月14日(金)必着

エイズ・性感染症 無料検査

①センタープラザ西館6階【エイズ・梅毒・クラミジア】水曜18:00~20:00、予約不要

②エイズ(即日)5月13日(土)、要予約

申し込み 検査日の1カ月前~先着順

HPV9価ワクチンが定期接種の対象に

4月1日(土)から、子宮頸がん予防ワクチン定期接種・キャッチアップ接種の対象ワクチンに、9価ワクチンが追加されます

神戸まつり モニター募集

5月28日(日)に開催する神戸まつりを観覧し、意見・感想を報告していただく市民モニターを募集

申し込み 4月3日(月)~14日(金)

問 市民祭協会 (☎331-2413 ☎322-6137)

自転車に乗るときはヘルメットの着用を

道路交通法の改正により4月から、自転車に乗るすべての人にヘルメットを着用することが求められます

のびのびバスポートの配付

対象は小・中学生。市内・連携市町通学者は学校、その他通学者は住所地の区役所等で4月10日(月)から配付。持参書類等は市ホームページで

地域子育て入浴 割引事業開始

市内32カ所の銭湯が、大人と子どもで利用するとお得に入浴できます。利用には電子チケットが必要。インターネットで電子申請を

申し込み 4月3日(月)~随時

問 生活衛生ダイヤル (☎771-7497 ☎050-3156-2902)



がん患者アピラン スサポート事業の申請を簡略化

e-KOBEを利用したオンラインでの申請受付を開始。一部添付資料の省略も可能に。対象は、4月1日(土)以降購入分です

はちを祝う会の開催と代表スタッフの募集

2024年1月8日(月・祝)13:00からノエピアスタジアム神戸で開催します。代表スタッフ申し込み等の詳細は市ホームページで

期限切れの福祉乗車証(磁気カード)の交換

4月3日(月)から小学生以下に交付の磁気カード交換をお住まいの区役所で実施。紛失の場合は4月28日(金)から交付します

期間 4月3日(月)~28日(金)

市アセス条例に基づく説明会

(仮称)西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業に係る環境影響評価書案の写しの縦覧及び意見の受付

期間 3月25日(土)・28日(火)

意見募集

市アセス条例に基づく縦覧等

(仮称)西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業に係る環境影響評価書案の写しの縦覧及び意見の受付

期間 3月10日(金)~4月24日(月)

各種相談

権利擁護・成年後見 法律相談

場所 市民福祉交流センター

料金 無料

①司法書士・社会福祉士 **日時** 4月11・25日(火)13:30~16:30(予約制)

②弁護士・社会福祉士 **日時** 4月18日・5月2日(火)13:30~16:30(予約制)

問 市成年後見支援センター (☎271-5321 ☎200-5329)

里山暮らし相談会

①4月19・26日(水)11:00~13:00②4月16日(日)13:00~15:00③4月16日・5月7日(日)13:00~16:00④4月14・28日(金)13:00~16:00

場所 ①淡河宿本陣跡②ヌア松森医院③神戸ワイナリー(農業公園)④西区役所

料金 無料

弁護士による人権 法律相談(電話・面談)

日時 4月18日(火)13:30~16:30(予約制)

料金 無料

申し込み 電で。随時

問 人権推進課 (☎331-8181 ☎322-6048)

くらしとこころの総合相談会

日時 原則第1・3水曜10:00~16:00

場所 ハローワーク神戸

問 精神保健福祉センター (☎371-1900 ☎371-1811)

女性のための相談室(面接・予約制)

場所 あすてっぶKOBE

料金 無料

①こころの悩み相談 **日時** 火・水・木・土曜(祝日休)13:00~15:30

②法律相談(事前相談要) **日時** 4月13日(木)・22日(土)13:00~15:30

③キャリア相談(オンライン有) **日時** 4月20日(木)17:00~19:45、15日(土)9:00~11:45

問 ☎361-8935 ☎361-6477

女性のためのDV相談室

☎382-0037

日時 9:00~17:00

女性のための相談室(電話)

☎361-8361

日時 火~土曜(祝日休)10:00~12:00・13:00~15:00

無料消費生活相談(電話・面談)

問 ☎188 ☎351-5556

日時 月~金曜(祝日休)9:00~17:00(面談はよ~16:30)

依存症専門医師相談(予約制)

日時 月3回定例

場所 総合福祉センター

料金 無料

申し込み 電で。随時

問 精神保健福祉センター (☎371-1900 ☎371-1811)

講演・講習

申し込み の記載がない「講演・講習、スポーツ、催し」の記事は当日受付です

ファミサポ協力会員 講習会

日時 4月18日(火)・19日(水)10:00~16:30

場所 総合福祉センター

料金 無料

申し込み 電でファミリー・サポートセンターへ。先着順

問 ☎262-1727 ☎271-5365

中央卸売市場本場の料理教室

料金 ①4,800円②4,200円

申し込み 電かホームページで。開催日の10日前まで受付。抽選

①魚のさばき方と魚料理のコツ~サゴシ **日時** 4月17日(月)10:30~

②シェフに学ぶ本格イタリアン **日時** 4月20日(木)10:30~

問 ☎652-5503 ☎681-3772

コミュニティカフェでのスマホ教室

日時 ①4月10日(月)②11日(火)③14日(金)④18日(火)⑤21日(金)⑥24日(月)⑦25日(火)13:30~

場所 市営住宅集会所①弓木南②小野柄③からと中央④新御崎西⑤西神南⑥北舞子第四⑦重池9号棟

料金 無料

申し込み 電で。開催日2週間前ごろ~先着順

自己尊重セミナー(オンライン)

日時 5月20日(土)13:30~

料金 無料

申し込み 電で。先着順

問 ☎361-6977 ☎361-6477

☎の記載のない問い合わせは / 神戸市総合コールセンター 年中無休 8:00~21:00 | ナビダイヤル (0570)083-330 | TEL (078)333-3330 | FAX (078)333-3314

「（仮称）西神戸ゴルフ場を転活用した産業団地整備事業に係る環境影響評価評価書案」説明会の開催について

最終更新日：2023年3月9日

西神戸ゴルフ場の転活用に向けた調査として環境影響評価の手続きを行っております。

環境影響評価の結果をとりまとめ、環境保全措置に関する事業者自らの考え方を示した、「評価書案」を作成いたしましたので、内容の説明会を開催させていただきます。

説明会

【日時】

- ①令和5年3月25日（土曜日）14時00分-15時00分
- ②令和5年3月28日（火曜日）18時30分-19時30分

【会場】

- ①押部谷地域福祉センター 第一会議室
〒651-2202 神戸市西区押部谷町西盛313番地
- ②榎谷出張所 別館2階会議室
〒651-2235 神戸市西区榎谷町長谷71-1

○参加自由、予約不要です。

○新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら実施いたしますので、下記事項について、ご理解・ご協力をお願いします。

- (1) 風邪の症状（37.5度以上の発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み等）のある方は、参加自粛にご協力ください。
- (2) 来場の際には、マスクの着用をお願いします。
- (3) 手指消毒剤を設置しますので、手指を消毒してから入室してください。
- (4) 入り口にて、検温を実施いたしますのでご協力ください。（検温の結果によっては、入場をご遠慮させていただく場合がございます。）
- (5) 密閉・密集・密接状態の回避のため、換気の徹底や人と人との距離を確保します。参加数により、ご来場を調整させていただく場合があります。詳細は、現地にてご案内いたします。
- (6) 参加者は、咳エチケット、手洗い、相互接触（握手、肩を組む等）の回避等心がけてください。
- (7) 参加者の把握のため、「氏名、住所、連絡先、体温」を記入していただきます。ご記入いただいた個人情報については、新型コロナウイルス感染防止対策以外には使用いたしません。

お問い合わせ先

都市局内陸・臨海計画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

Copyright © City of Kobe. All rights reserved.